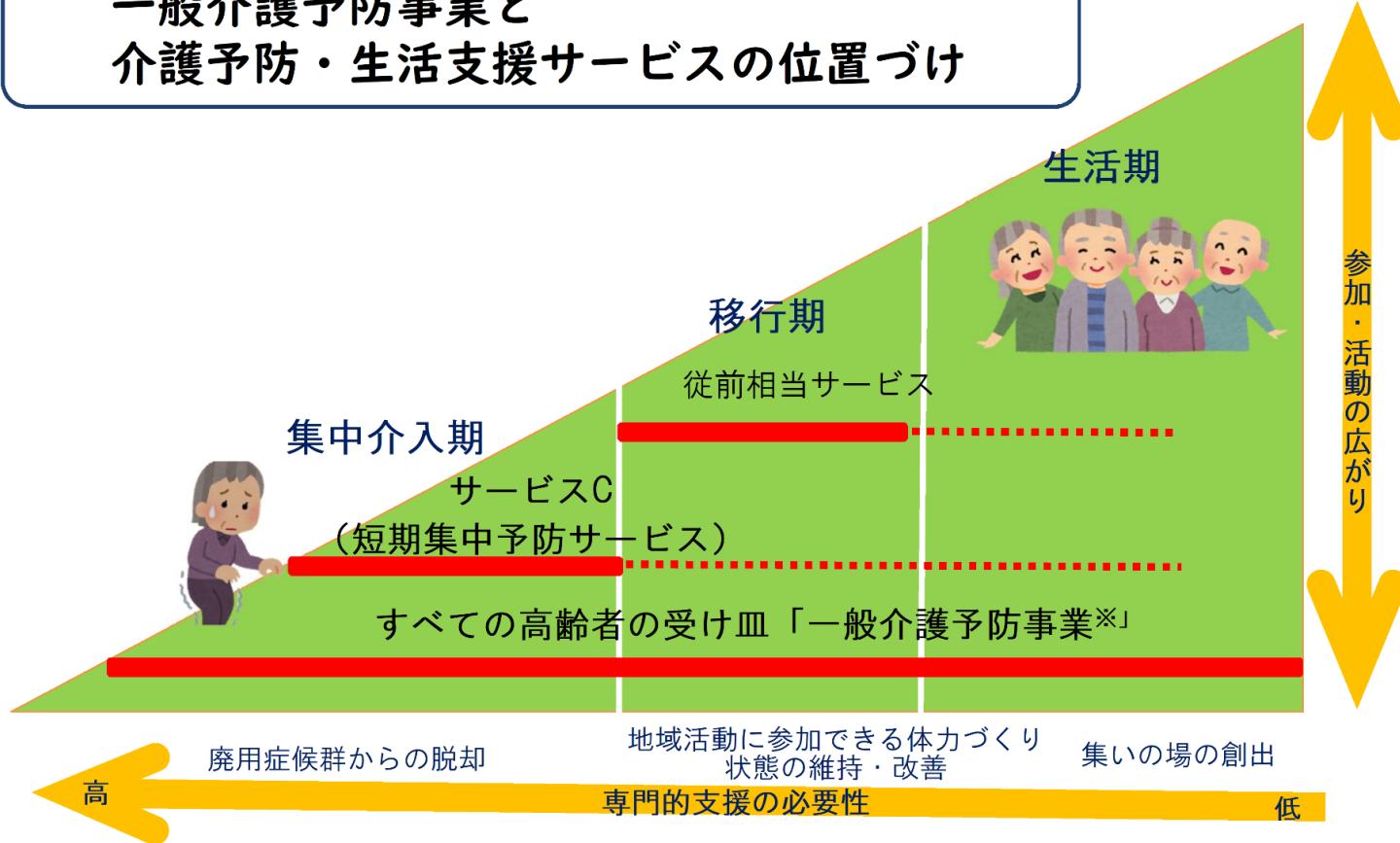


諫早市の介護予防・日常生活支援総合事業の枠組み

一般介護予防事業と 介護予防・生活支援サービスの位置づけ



※一般介護予防事業の主な事業

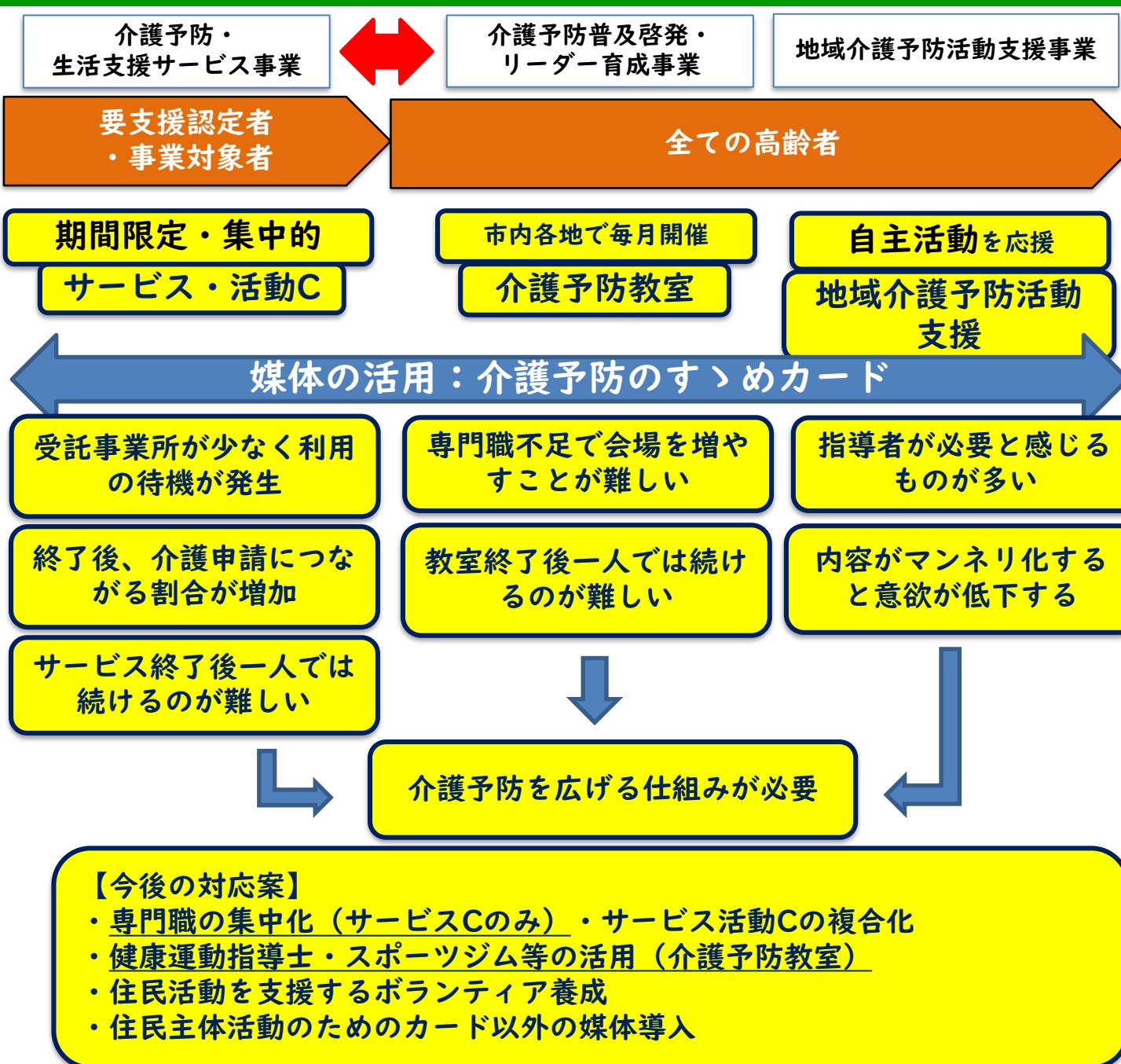
- ①介護予防(活動)把握事業 ②介護予防普及啓発・リーダー育成事業 ③地域介護予防活動支援事業
- ④一般介護予防事業評価事業 ⑤地域リハビリテーション活動支援事業

介護予防・日常生活支援総合事業の課題と対策

現状
課題
対応

目標

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられる
地域づくり



【今後の対応案】

- ・専門職の集中化（サービスCのみ）
- ・サービス活動Cの複合化
- ・健康運動指導士・スポーツジム等の活用（介護予防教室）
- ・住民活動を支援するボランティア養成
- ・住民主体活動のためのカード以外の媒体導入

【フレイル予防教室の現状】

従事者：専門職（理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士）
会 場：市内 20箇所（公的公民館・自治公民館）

【対応案】

従事者：従事者の範囲を拡大

（例）健康運動指導士（スポーツジム等の指導者）

会 場：市内スポーツジム等を追加

【見込まれる効果】

- サービス・活動Cに専門職を集中化でき、サービス・活動C待機者が減少する
- フレイル予防教室の会場が増え、より通いやすい環境整備ができる

意見交換

介護予防が日常生活の中で習慣となり、地域に定着していくために、以下の3点を踏まえ、身近な場所で教室を開催し、参加者を増やしたい。

検討中の対応案の他に何かアイデアはないか？

- ①フレイル予防の正しい知識を普及する
- ②安全に教室が運営できる
- ③教室終了後もフレイル予防を継続化できる